

マルチタッチセンサー ワイヤレスマウス取扱説明書

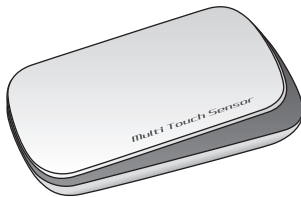
MA-TOUCH1シリーズ

MA-TOUCH1

☎ R 2011WW 10215245

MA-TOUCH1RC

☎ R 2011WW 10215244



最初に
ご確認ください

- セリフ内容
- マウス本体 1台
 - 極小レシーバー 1台
 - ドライバソフト
(Windows用CD) 1枚
 - 単四電池(テスト用) 2本
 - 携帯用ポーチ 1個
 - 取扱説明書 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEB(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1. はじめに
2. 健康に関する注意
3. 警告
4. 対応機種・対応OS
5. 接続手順
6. 各部の名称とはたらき
7. マウスの準備(電池の入れ方)
8. マウスの接続(レシーバーの接続)
9. ID(チャンネル)の設定方法
10. ドライバソフトをインストールする前にお読みください
11. 付属のドライバソフトをインストール
12. ドライバソフトの特長
13. 「故障かな…」と思ったら
14. オンライン製品サポート
15. 保証規定

1.はじめに

この度は、マルチタッチセンサーワイヤレスマウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

2.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。

マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

3.警告

■テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認ください。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせることでお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

4.対応機種・対応OS

■対応機種

- Windows搭載パソコン、各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
- ※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種

■対応OS

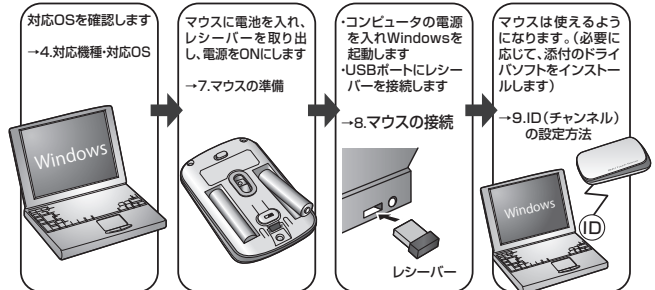
- Windows 7・Vista・XP・2000

※機種により対応できないものもあります。

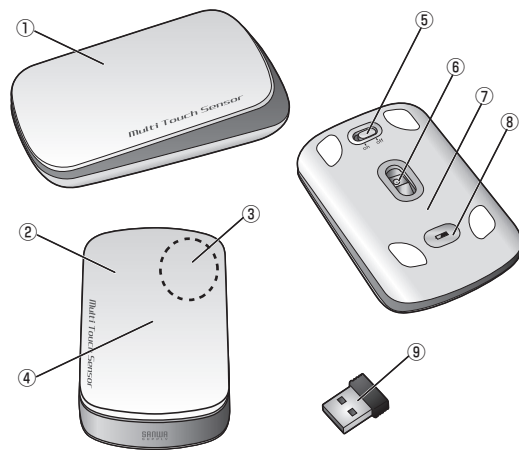
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

5.接続手順

詳細は各ページをご覧ください。



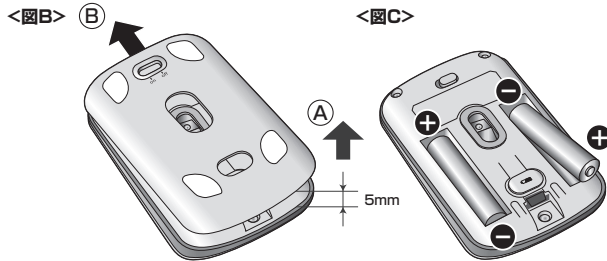
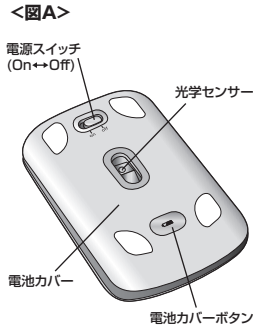
6.各部の名称とはたらき



- ①マルチタッチボタン マルチタッチセンサーを搭載しているので、マウス表面をクリック、ダブルクリック、右クリック、スクロール機能を指先で直感操作が行えます。添付ドライバソフトをインストールすることで、横スクロールやスワイプ機能、コマンド割付けも可能になります。
- ②左ボタン機能 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。
- ③右ボタン機能 右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。
- ④スクロール機能 インターネットやWindows上のドキュメント画面を上下にスクロールさせる際、一本の指を前後にスライドさせます。また、左右にスクロールさせる際は、左右にスライドさせます。
- ④スワイプ機能 インターネット操作で便利な「戻る」「進む」機能を使う際は、マルチタッチボタン上を二本指で左右にスライドさせます。
※スワイプ機能、左右スクロール機能を使用する際は、添付ドライバのインストールが必要になります。
- ⑤電源スイッチ マウス本体の電源をON/OFFします。
- ⑥光学センサー 光学センサーが動きを読み取ってくれるから、正確で自然な動きを実現します。
- ⑦電池カバー このカバーを外して、電池を入れます。
- ⑧電池カバーボタン 電池カバーを外す際、このボタンを押しながら行います。
- ⑨超小型レシーバー 14.5×18mmの極小レシーバーなので、ノートパソコンに装着した際の出っ張りもわずか8mm。装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。

7.マウスの準備(電池の入れ方)

1. マウス裏面の電池カバーボタンを押しながら、電池カバーのマウス後部を(A)方向に5mm程度持ち上げ、(B)方向にスライドさせて電池カバーを外します。
<図A> <図B>
2. 付属の単四電池をマウスに入れます。
※正しい極性で入れてください。<図C>
3. 電池カバーを、取外したときの手順と逆の手順で取付けます。
4. 電源スイッチをONにすると、光学センサーが一瞬点灯し、すぐに消灯します。超小型レシーバーがパソコンに接続された状態で、パソコンの電源がONの時は、光学センサーが点灯を続けます。
※マウスを動作させている際、カーソルの動きがスムーズでなくなったり光学センサーが点灯しなくなったら、電池を交換してください。
※電池交換の際は、新品の単四アルカリ乾電池を2本ご使用ください。(付属の電池はテスト用ですので、寿命が短くなっています。)
※異なるメーカーの電池を組合わせて使用しないでください。
※電池交換の際は、マウスでの電源をOFFの状態で行ってください。
※空になった電池をマウス内にそのまま置いておくと液漏れの原因になりますので、取出しておいてください。

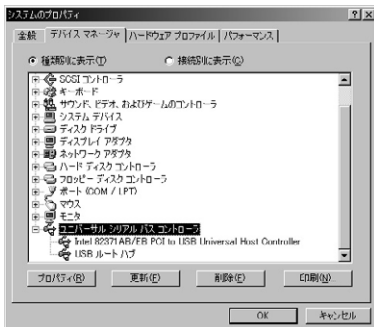


8.マウスの接続(レシーバーの接続)

■本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

[スタート]→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]→[システム]の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つかからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際も、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

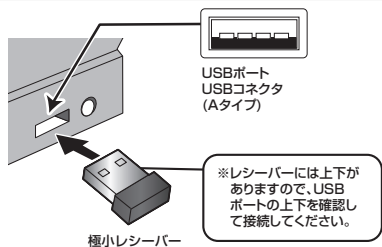
■BIOS上でUSBがdisable/ディセーブル(無効)になっている場合

- BIOS上のUSBをenable/イネーブル(有効)にしてください。通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体の取扱説明書をご覧ください。

■レシーバーを接続

※注意:マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお薦めします。

- ① コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
- ② レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。



※レシーバーには上下がありますので、USBポートの上下を確認して接続してください。

③ 自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

(Windows 7の場合)

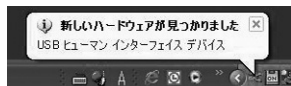
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」[USB入力デバイス]と表示されて、自動的にインストールが完了します。

(Windows Vistaの場合)

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」[USBヒューマンインターフェイスデバイス]と表示されて、自動的にインストールが完了します。

(Windows XP・2000の場合)

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」[使用できる準備ができました。]と表示されて、自動的にインストールが完了します。



9.ID(チャンネル)の設定方法

※重要(必ずお読みください)

レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスは使えるようになります。ID(チャンネル)は電波状況に応じて自動的に設定されるAuto Link方式ですが、変更の際、ほんの少しマウスの動きがスムーズでない事があります。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくして、マウスの電池残量LEDが点滅を繰り返したり、マウスが動かなくなった場合は、すみやかに電池を交換してください。

10.ドライバソフトをインストールする前にお読みください

※重要(必ずお読みください)

本製品に添付のドライバソフトがインストールされていない状態でも、マウスの基本的な機能は使えます。横スクロール機能、ボタン割付け等の特別な機能を使う場合、添付のドライバソフトのインストールが必要になります。

■内蔵ポインティングデバイス用ユーティリティの切り離し

本製品添付のドライバは、各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを切り離すか、添付ドライバをインストールなさらずにお使いください。各ユーティリティによって切り離し方法が異なります。下記をご覧ください。

- NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合
デバイスマネージャマウスでNXPADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
- 東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合
途中「このデバイスに適切なドライバが見つかりません」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。
- Lenovo ThinkPadシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「Lenovo Trackpoint」をアンインストールしてください。
- Compaq Armadaシリーズの場合
アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。その後デバイスマネージャマウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
- 途中「このデバイスに適切なドライバが見つかりません」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

例) NEC PC98-NXの場合

NEC PC98-NXにマウスを接続すると

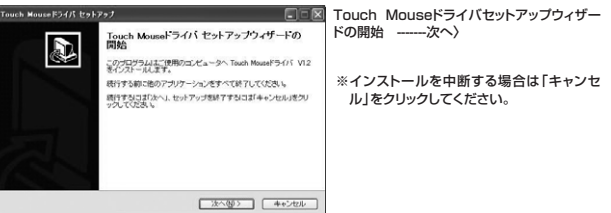
- スクロールが動作しない。
- カーソルのスピードを変更しても、再起動すると元に戻ってしまう。
- スクロールの設定ができない。
- コントロールパネルのマウスが開かない。

などの症状が発生することがあります。これは、タッチパッドのユーティリティの影響です。

11.付属のドライバソフトをインストール

付属のドライバソフトをインストールする際は、他のアプリケーション等をすべて終了させてから行ってください。

- ① Windowsを完全に起動させ、付属のドライバディスクをCD-ROMドライブにセットしてください。
- ② インストーラが自動的に起動し、以下のような画面が表示されます。



Touch Mouseドライバセットアップウィザードの開始 -----次へ>

※インストールを中断する場合は「キャンセル」をクリックしてください。



③インストール先の指定 -----次へ>



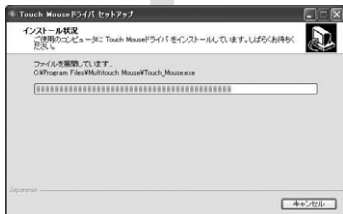
④プログラムグループの指定 -----次へ>

(裏面へ続く)

11. 付属のドライバソフトをインストール(続き)



⑤インストール準備完了



⑥インストール状況
セットアップステータスが表示され、インストールが実行されます。



⑦Touch Mouseドライバセットアップウィザード完了-----完了(F)

12. ドライバソフトの特長

■ドライバソフトの設定画面を開く

画面右下のタスクトレイに表示されているマウスアイコンをダブルクリックすると、ドライバソフトの設定画面を開くことができます。



マウスアイコン

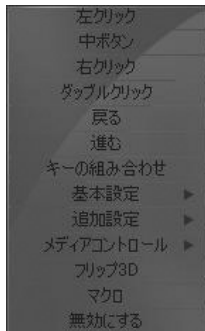
■<ドライバメニュー>



■ボタン割り当て



- 変更したいボタンのところにカーソル移動し、クリックします。
- 「ボタンの設定」をクリックして割り当てたい機能を選択します。

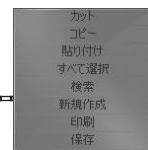


●「OK」もしくは「適用」をクリックします。

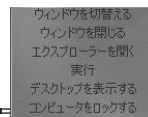
12. ドライバソフトの特長(続き)



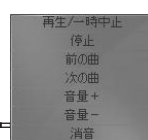
<基本設定>



<追加設定>



<メディアコントロール>



■ドライバソフトのアンインストール

- タスクトレイ(画面右下)のスクロールマウスアイコンを右クリックして表示されたメニューから「Exit」を選択し、本ドライバソフトを終了させます。
- コントロールパネル→「プログラムの追加と削除」の中から「Touch Mouse Driver」を実行してください。

13. 「故障かな…」と思ったら

Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。

1. マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。(「7. マウスの準備」参照)
2. レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。(「8. マウスの接続の[レシーバーを接続]」参照)
3. 付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんので、新しい電池に交換してください。(「7. マウスの準備」参照)

Q. マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。

1. 本製品は、電池の消費を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させるには、右ボタンや左ボタンを押してください。マウスが復帰する際、多少時間がかかることがあります。

Q. マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下する場合があります。
2. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
3. ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線通信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなる場合がありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを押し直してください。
4. レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。

Q. Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

Q. Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

1. ハイカラーモードを選択してください。
2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。そのため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

